

ラブライブ！OCG ス
クールアイドルバト
ラーズ

ヤギリ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ある日、矢澤にこが自作したオリジナルのカードゲーム『スクールアイドルバトラーズ』略して『スクバト』……、雨などでダンスや歌の練習ができないμsの暇つぶし程度に作ったこのカードゲームに、μsは次第にハマっていく。

この作品は、にこの自作カードゲームをμsのみんなが、ただただ遊ぶだけのお話しです。

ラブライブ！のウエハースに入っているプロマイドカードがありますでしょ？それを見て「何かテキストとか付けて遊べないかな」と思っただけに妄想したOCGです。

目次

スクバト	チュートリアル	—	1
チュートリアル後半	穂乃果	v s	に
こ	—	—	12
『スクバト』新ルール会議	—	—	24

スクバト チュートリアル

ある雨の日、μ'sはアイドル研究部の部室に集まっていた。

穂乃果「みんなおつかれー!」

海未「お疲れ様です。」

ことり「おつかれ!」

絵里「穂乃果、おつかれなさい。」

にこ「3人とも、やっと来たわね。」

真姫「それで、にこちゃん、雨で練習も無いのに私達を呼び出して何の用?」

凛「歌の練習でもするかにや?」

花陽「凛ちゃん、今日の音楽室は吹奏楽部の番だよ。」

希「用件を聞こうやん」

にこ「ふっふっふ……、今日みんなを呼んだのは、これよ!」

「ここは紙袋を取り出し、中身を取り出した。その中身は9個のカードの束だった。」

「ことり「カード?」」

「ここ「そう、これは私が考えに考えぬいた自作のカードゲームよ!」」

「絵里「もしかして、私達を呼び出したのって、このカードの為?」」

「ここ「そうよ。今日は雨でダンスの練習はできないし、音楽室も吹奏楽部が使っているから、ちょうどいいと思ったのよ。」

「真姫「何かと思えば……………」」

「ここ「何よ……………」」

「希「まあまあ、それでにこっち、自作のカードって事は、遊び方があるんやろ?」」

「ここ「当たり前でしょ。カードゲームなんだから。」」

「希「まあ、確かに今日は何の活動もできないし、近いイベントも無いから、暇つぶし程度にはええんやない?」」

「穂乃果「そうだよ!特にやる事も無いし、それに穂乃果は少し興味があるよ!」」

「絵里「穂乃果と希が言うなら……………」、にこの娯楽に付き合っただけだよ。」

「ここ「何か言い方がアレだけど……………」、じゃあルールを説明するわね。」

凜「でも、凜達にカードゲームなんてできるかにや〜」

花陽「カードゲームって難しそうなイメージがあるよねえ……」

にこ「大丈夫よ、アホの穂乃果やバカの凜でも覚え易いようにルールは単純で簡単だから。じゃあ誰か練習の相手になつてくれない？」

穂乃果「はいはい！穂乃果！穂乃果が相手する〜！」

にこ「分かったわ、はいデッキ。」

穂乃果「お〜〜」

にこ「一応フィールドも作つて来たわ、カレンダーの裏だけどね。」

海未「何か、無駄に本格的ですね……。」

チュートリアル 開始

にこ「いい？ルールはざつと下に書いておくわ。」

1. デッキが先に0枚になったら負け。
2. デッキは1人25枚で構成する。（以上でも以下でもなく、必ず25枚にするこ
と）

3. デツキに入る同名カードは4枚まで。

4. ルールを守って楽しくパトル

にこ「読者のみんなも、実際のカードをイメージしなさい。始めるわよ。穂乃果」

穂乃果「うん！」

にこ「まずはデツキを充分にシャッフルして、フィールドの右端のデツキ置き場に置いてちょうだい。」シャァ！ シャァ！ シャァ！

穂乃果「シャッフルしてデツキを置いたよ。」

にこ「OK、じゃあデツキの上から5枚引いて手札にしなさい。これでゲームの準備は整ったは。互いにデツキの枚数は20枚になったはずよ。いい？ さつきも言った通り、デツキが先に0枚になったら負けよ」

穂乃果「うん！」

にこ「始めるわよ！ 掛け声は……………」

ライブ・スタート!!?

にこ

??手札5／デッキ20

穂乃果

??手札5／デッキ20

にこ「チュートリアルだから、にこが先攻よ。因みにこのカードゲームには、全てのカードゲームで一番重要なものが無いわ。」

穂乃果「一番重要なもの？」

にこ「そう。読者の皆は分かるわよね？カードゲームにおいて一番重要なもの、それは、このゲームにはドローフエイズが無いのよ！」

穂乃果「何だつてー！（棒）」

にこ「ライブ中のフェイズの流れは下に書いておくわ。」

1. スタートフェイズ：自分のターンだと宣言する。自分のカードを全て縦向きに直す。

2. メインフェイズ：アイドルカードを登場させたり、イベントカードや、ライブカードを発動できる。

3. ライブフェイズ：自分のアイドルカードで相手のアイドルカードや相手のプレイ

ヤーに攻撃できる。

4. エンドフェイズ：自分のターンが終わった事を宣言する。

にこ「いい加減始めるわよ。にこのターン！にこはへ矢澤にこ」音ノ木制服」を出演！」

??手札5↓4

矢澤にこ」音ノ木制服

アイドルカード

種類：μ, s / 制服

タイプ：?? (チヨキ)

コスト2 / 技力3

にこ「いい？アイドルカードを出すにはコストがかかるわ。アイドルを出す為のコストは手札から支払われるの。へ矢澤にこ」音ノ木制服」のコストは2だから、手札を2枚退場エリアに置くわ。」

??手札4↓2

退場エリア：デツキ置き場の上、バトルで負けたアイドルカードや、使い終わったイベントカードなどを置く場所。カードの効果以外で手札やデツキには戻せない。

にこ「じゃあライブフェイズよ！このフェイズでは、相手のアイドルや相手のプレイヤーに攻撃できるわ。" 矢澤にこ" 音ノ木制服" で穂乃果に攻撃！相手のプレイヤーに攻撃した場合、相手は技力の数値分、カードを引くのよ。" 矢澤にこ" 音ノ木制服" の技力は3、だから3枚引きなさい。」

穂乃果「うん！」

??デツキ20↓17 / 手札5↓8

穂乃果「やった、手札が増えたよ〜！」

にこ「あんた分かってる？手札が増えたって事は、デツキが減ったって事なのよ？つまり、あんたは後17枚デツキを守らないと負けるのよ。」

穂乃果「そうだった〜！」

にこ「このターンでやる事は無いから、私はターンエンド。後は今までの行動の繰り返しだから、やってみなさい。」

穂乃果「穂乃果のターン、じゃあ穂乃果は〜、これ！〈No brand girls〉を出演！」

??手札8↓7

No brand girls 高坂穂乃果
アイドルカード

μ's / No brand girls

タイプ：? (グー)

コスト4 / 技力4

??「じゃんけんフアイト」(このカードが相手のアイドルに攻撃する時、相手はデッキの一番上のカードをめくり、タイプを競う。)

勝った場合：このアイドルの技力+2!

負けた場合：君はカードを1枚引く。

あいこ：このバトルを終わらせて、お互いにデッキから1枚引く。

にこ「じゃあ手札からコストを払って。」

穂乃果「うん、えーとコストは4だから……」

??手札7↓3

穂乃果「よし！じゃあライブフェイズ！No brand girls高坂穂乃果でこちゃんに……」

にこ「ちよい待ち！私の場にアイドルカードがあれば、必ずそのカード同士でバトルする事になるわ。場にアイドルカードがある限りプレイヤーに直接攻撃はできないからね。」

穂乃果「じゃあ、にこちゃんのカードに攻撃！」

にこ「く……、あら？そのカードは【じゃんけんファイト】の能力があるわね？」

穂乃果「？そうだね。」

にこ「アイドルカードには様々な能力があるわ。その能力も駆使することでより楽しい面白いゲームになるのよ。能力を使うかどうかは穂乃果に権利があるわ。あんたが決めなさい。」

穂乃果「じゃあ……使う！」

にこ「OK！じゃあ【じゃんけんファイト】に従って行動するわよ。この能力は私が解決する能力、私のデッキトップをめくるわよ。」

めくったカード

??矢澤にこ"私服"タイプ??

にこ「ここで気になるタイプの出番よ。アイドルカードには3種のタイプがあるわ。?タイプ、??タイプ、?タイプ、【じゃんけんファイト】では、このタイプを競うの。攻撃している"No brand girls 高坂穂乃果"のカードは?タイプ、私がめくったカードは??タイプ。じゃんけんでは私の負けね。じゃあ穂乃果、勝つ場合の能力を発動しなさい。」

穂乃果「うん!じゃんけんに勝つた場合、穂乃果のカードの技力+2!技力6だよ!」

No brand girls 高坂穂乃果

技力6

矢澤にこ"音ノ木制服"

技力3

矢澤にこ"音ノ木制服" 退場

にこ「そして負けたアイドルカードのプレイヤーは相手の技力が多かった分カードを引くわ。穂乃果のカードの技力は6、にこのカードの技力は3だったから、6-3で、3

枚引くわ。」

??デツキ20↓17／手札2↓5

――

絵里「へー、運の要素もあるのね？」

希「よく考えられてるやん！」

海未「観てても楽しいですね。」

凜「面白そうにや〜」

真姫「……………」

――

にこ「他にやる事ある？穂乃果？」

穂乃果「ううん、無いよ！ターンエンド」

にこ「こんな風に、ルールは単純で簡単よ。さらにゲームを楽しくするように色んな能力を理解して遊ぶのよ。今回は実際にルールを確認しながら、通してバトルするわよ！」

チュートリアル後半 穂乃果 vs にご

とある雨の日、μsは矢澤にごに呼び出された。呼び出した内容は、にごが自作したカードゲーム『スクールアイドルバトルラズ』略して『スクバト』で遊ぼうと言うものだった。そして、にごと穂乃果のチュートリアルバトルが始まった。(チュートリアルは前回を参照)

——

にご「ある程度のルールを理解した事で、ルールを確認しながら通してバトルするわよ！」

穂乃果「うん！」

——

穂乃果

??手札3 / デッキ17

場：No brand girls 高坂穂乃果

——

にご

??手札5 / デッキ17

場：無し

——

にこ「次は私の番ね。にこのターン！今回はイベントカードを使うわ！」

穂乃果「イベントカード？」

にこ「そう、イベントカードは、自分をサポートしたり、相手を妨害する事ができるわ。イベントカードへ晴天のライブ」

??手札5 ↓ 4

晴天のライブ

ノーマルイベント

タイプ？

??君の退場エリアからカードを3枚デッキの1番下に戻して、カードを4枚引く。このカードは1ターンで1回だけ使える。

にこ「このカードの能力で、退場エリアから3枚デッキに戻すわ。」

??デッキ17 ↓ 20

穂乃果「えく!?」

にこ「さらに、4枚ドロー！」

?? デッキ20↓16 / 手札4↓8

穂乃果「あれ? 4枚引いたらさつきよりデッキが減るんじや……」

にこ「ええそうね。でも手札は増えたわ! 手札を6枚コストで ♪ h a p p y m a k e r !」 矢澤にこ

?? 手札8↓2↓1

" h a p p y m a k e r ! " 矢澤にこ

アイドルカード

μ, s / h a p p y m a k e r !

タイプ?

コスト6 / 技力6

??「(じゃんけんファイト) (このカードが相手のアイドルに攻撃した時、相手はデッキの上のカードを1枚めくり、タイプを競う。)

君が勝った場合: 相手はカードを2枚引く。

君が負けた場合: 君はカードを3枚引く。

あいこ：互いにカードを2枚引く。

??このカードの技力は3以下にならない。

にこ「行くわよ！」 happy maker! 矢澤にこ" で" No branding
irls 高坂穂乃果" に攻撃! 「じゃんけんファイト」発動! デッキトップをめくりな
さい、穂乃果!」

穂乃果「うん!」

めくったカード

??高坂穂乃果" パジャマ" タイプ?

にこ「よし! にこのタイプは? だからじゃんけんは勝ちね!」

穂乃果「くう〜!」

因みに、「じゃんけんファイト」で公開したカードはデッキに戻してシャッフルされる。

にこ「じゃんけんに勝った場合、穂乃果はカードを2枚引く！」

穂乃果「そんな〜」

??デツキ17↓15 / 手札3↓5

にこ「そしてバトル！」

" h a p p y m a k e r ! " 矢澤にこ

技力6

" N o b r a n d g i r l s " 高坂穂乃果

技力4

" N o b r a n d g i r l s " 高坂穂乃果 退場

技力6 | 4 || 2

穂乃果

??デツキ15↓13 / 手札5↓7

にこ「ターンエンドよ！」

??手札1 / デツキ16

穂乃果「穂乃果のターン！穂乃果も使うよ。イベントカードへ晴天のライブ！退場エリアから3枚デッキに戻して4枚ドロー！」

??デッキ13↓16↓12／手札7↓6↓10

手札3枚コストにへ高坂穂乃果"浴衣"とコスト2でへ高坂穂乃果"体操着"を出演！」

??手札10↓6↓3

高坂穂乃果"浴衣"

アイドルカード

μ s / 浴衣 / 衣装

タイプ:??

コスト3 / 技力3

??このカードが【デュエット攻撃】した時、相手のアイドル1枚の技力ー2！

高坂穂乃果"体操着"

アイドルカード

μ s / 体操着 / 衣装

タイプ：？

コスト2 / 技力3

??このカードが「デュエツト攻撃」した時、このアイドルの技力+2!

穂乃果「あれ?にこちゃん、この「デュエツト攻撃」って……何?」

にご「ああ、それはアイドルカード1枚で攻撃して、どうしても相手の技力を超えられない場合に、まだ行動してない他のアイドルカードと一緒に攻撃できるのよ。その場合、デュエツトしたカードの技力を合計した数値で相手のアイドルとバトルするの。ただし、自分より弱いカードを相手にデュエツトはできないからね?いじめになるから。」

穂乃果「じゃあ、高坂穂乃果"体操着"と高坂穂乃果"浴衣"で"happy make"矢澤にこちゃんにデュエツト攻撃!穂乃果浴衣の能力で、にこちゃんの技力を-2!穂乃果体操着の能力で自身の技力+2だよ!」

穂乃果"体操着"+浴衣"

デュエツト技力6↓8

"happy maker!" 矢澤にこ

技力6↓4

"happy maker!" 矢澤にこ 退場!

8↓4||4

にこ「や、やるじゃない……」

??デッキ16↓12 / 手札1↓5

穂乃果「まだまだ行くよ! 私の場のアイドルカード2枚以上をコストに、ライブカードへ僕らのLIVE 君とのLIFE♡!」

??手札3↓2

僕らのLIVE 君とのLIFE

ライブカード

ライブ?

μ's / 僕らのLIVE 君とのLIFE / 楽曲

??君のライブフェイズ中に君のアイドルカード2枚を退場して使用できる。このカードは1ターンに1枚だけ使える。

??君のデッキを見て種類がへμ s へ僕らのL I V E 君とのL I F E のアイドルカードを1枚コスト無しで出演できる。そしてこのカードを君の場に残す。

??ライブフェイズ中、このカードを退場させて、君の場にいるコスト4以下の行動後（横向き）のアイドルカード1枚を未行動（縦向き）にする。

にご「ライブカードですって〜!?」

穂乃果「よく分かんないけど、使い方が頭の中に入ってきた！このカードを場に残して、デッキの中からへ僕らのL I V E 君とのL I F E 高坂穂乃果」

" 僕らのL I V E 君とのL I F E " 高坂穂乃果

アイドルカード

μ s / 僕らのL I V E 君とのL I F E

ライブ：?

コスト7 / 技力7

??このカードがへライブカードの能力で出演した時、君の退場エリアからコスト3以下のアイドルカード1枚をコスト無しで出演させる。

??君の手札からカード名がへ高坂穂乃果を含むカード1枚捨てて、このカードの技

力+2!

穂乃果「行くよにこちゃん!穂乃果がライブカードの能力で出演した時、退場エリアからへ高坂穂乃果"浴衣"を出演!」

高坂穂乃果"浴衣"

μ, s / 浴衣 / 衣装

ライブ:?? / コスト3 / 技力3

穂乃果「ライブフェイズ中に出演しても攻撃は出来るよね?」

にこ「そ、そうね……」

穂乃果「"僕らのL I V E 君とのL I F E" 高坂穂乃果の能力で、手札からへ高坂穂乃果"パジャマ"を捨てて、技力+2!」

??手札2↓1

"僕らのL I V E 君とのL I F E" 高坂穂乃果

技力7↓9

にこ「技力……9……?はは……は……」

穂乃果「僕らのL I V E 君とのL I F E" 穂乃果で、にこちゃんに攻撃! 技力9だよ!"

にこ「マジで……!」

??デツキ12↓3/手札5↓14

穂乃果「穂乃果" パジャマ" で攻撃! 技力3だよ!"

にこ「くう……」

??デツキ3↓0/手札14↓17

ー

穂乃果「やった……! 穂乃果の勝ち……!」

にこ「……」

真姫「はあ……:にこちゃん、自作したゲームで負けるなんて……」

にこ「何よ! 完成したのが昨日でまだ一度も試遊してなかったのよ! それに、今回はあくまでチュートリアルよ、勝ち負けとかじゃないのよ!」

希「にしてはなら熱くなってたやん!」

にこ「うっさいわね……!」

穂乃果「にこちゃん！このカードゲーム凄い面白いよ！穂乃果ハマリそう！」

凜「凜もやってみたいにや〜！」

海未「穂乃果にも理解できるほど簡単で、色んな戦略もあつて良いではないですか。」
にこ「あんた達……、ありがとう。」

穂乃果「にこちゃん！もう一度やろう！」

にこ「いいわよ！今度はチュートリアルじゃなくて本気なんだからね〜！」

『スクバト』新ルール会議

次の日、その日も雨が降っていた。μ sのみんなはにこが自作したカードゲーム『スクールアイドルバトラーズ』で遊ぼうとしていたのだが、製作者のここから突然……

——

にこ「悪いわね。ルールを少し変えようと思うの。」

穂乃果「えく、やっと覚えたのに……」

にこ「安心しなさい穂乃果、基本は変わらないから。」

絵里「どんな風に変えるの？」

にこ「フェイズを少し追加するだけよ。」

凜「フェイズ？」

希「行動順を増やすって事？」

にこ「そうよ。」

海未「いったい、どんなフェイズを？」

にこ「←を見てちょうだい。」

スタートフェイズ

←

マリガンフェイズ：追加

←

メインフェイズ

←

ライブフェイズ

←

エンドフェイズ

ことり「マリガンフェイズ？」

にこ「そうよ！」

凜「変な名前にや……」

にこ「名前は変だけど、結構重要な行動よ！」

希「マリガンって何するん？」

「ここにこのゲームはデッキが0になったら負けでしょ？だから自分でライフを減らすドローを無くしたんだけど、でも手札事故や手札がじり貧になる問題がある訳よ。だか

ら、このマリガンフェイズで手札を好きな枚数デッキに戻して、戻した枚数を引き直すマリガンフェイズを追加したのよ。因みにマリガンフェイズを行うかどうかは選べるから、手札を変えたくなかったらマリガンフェイズをスキップしてもいいわよ。」

海末「でも、手札が1〜2枚でマリガンしても意味無いですよね？」

にこ「それは……考えてなかったわ……」

穂乃果「でも攻撃されたら手札が増えるでしょ？ 問題無いんじゃない？」

海末「それも……そうですかね……」

にこ「残念だけど、そこを狙った戦法もあるわ。相手がダメージを受けたら相手の手札が増えてしまう、だからワザと攻撃しないって戦い方もあるわ。」

真姫「それじゃ、元も子もないじゃない……、攻めて貰わないと手札が増えないし、だからってこっちも攻めないとゲームが進まないじゃない……」

にこ「そうなのよ。しかも、相手の攻撃をギリギリまで受けて手札をいっぱい増やしてからの一斉展開して1ターンキル！とか、そういう戦法もあるわよね。」

凜「ワンタン切る？」

にこ「1ターンキル！ たった1回のターンで相手に勝利することよ！ その戦い方をさせない為に、アイドルカードの出演数を制限しようと思うわ。」

花陽「何枚まで出せるの？」

にこ「そうね……、元々コストが払える限り何枚でも出せるルールだったからね
…………、手札から出せるのは、ざっと3枚ずつかしらね。」

絵里「いいんじゃないかしら？」

希「うん！じゃあ今決めたルールを適用して実際にスクバトやろうやん！」

凜「今度は凜がやるにや！かよちゃんが相手ね！」

花陽「え！私!!？」

凜「一緒にやるにや〜！」

絵里「いいじゃない、遊んであげなさい花陽。」

花陽「うん！」

にこ「もう少し待ちなさい。」

凜「え〜！今度は何にや〜」

にこ「フィールドを新しくしたのよ、カレンダーの裏だけどね。」

ことり「新しくって、どこか変わったの？」

にこ「ええ、このフィールドに「ボイドエリア」ってのを追加したわ。」

絵里「ボイドエリア？何？」

にこ「さつき、マリガンフェイズや手札がじり貧になるって話をしたわよね。」

海未「はい、そうですね。」

にこ「これから、攻撃されてデッキが減る場合、そのカード達はこのボイドエリアに置かれるわ！」

穂乃果「何か意味あるの？」

にこ「当たり前でしょ。ボイドエリアに置かれたカードはマリガンフェイズの時に役に立つわ。マリガンフェイズで手札をボイドエリアのカードと交換できるのよ。しかも、5枚まで引き直せるのよ！」

例)

マリガンフェイズで手札3枚全てをボイドエリアに置いて、手札が5枚になるまでボイドエリアからドロウできる。

にこ「それだけじゃないわ！アイドルカードを出演させるコスト支払いもボイドエリアからできるわ！もちろん、手札のカードと組み合わせさせてコスト支払いもできるけどね。」

例)

コスト4のアイドルカードを出す時、ボイドエリアのカード4枚を退場エリアに置いて、そのアイドルカードを出演できる。

または……、手札から2枚、ボイドエリアから2枚をコストに出演させることも可能。

にこ「これに伴って、新しい能力も追加したわ。」

希「なるほどなく、つまりボイドエリアは第2の手札とデツキって事やな?」

にこ「そうよ。でも、今回追加したマリガンフェイズや、ボイドエリアについては、読者の皆さんにも意見を求める必要があるわ。3話は一旦この話し合いで終わりよ。もし何か意見をもらったら次回に反映するわ。」